

校長	岩崎 勝久 印	教頭	樋口 稔浩 印
----	---------	----	---------

教科名	国語	科目名	古典B	学 年	3(特進)	単位数	2	年間時数	70
使用教科書名		「新編古典B」(東京書籍)							
副教材名		古語辞典、漢和辞典							
学習の到達目標		古典としての古文・漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。							

○評価の観点、及び内容、方法

評価の観点	関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
評価の内容	・古典を読んで思想や感情などを的確にとらえたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させようとしている。	・古典を読んで思想や感情などを的確にとらえたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	・伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身につけている。
評価の方法	・行動の観察(学習活動への参加姿勢や態度) ・記述の確認(ノート、ワークシート)	・行動の観察(活動における発言内容) ・記述の確認(ノート、ワークシート)	・行動の観察(活動における発言内容) ・記述の確認(ノート、ワークシート)

学期	月	時数	単元名 単元目標	教材名	学習内容 【言語】-単元で取り上げる言語活動	主な評価規準の具体例 〔関〕→関心・意欲・態度 〔読〕-読む／〔知〕-知識・理解 〈評価方法〉—学習指導要領の指導事項
1	4	5	1 随筆を味わう ▼随筆を読み、自然や人間に対する、古人の優れた感性に触れよう。 ▼言葉の変遷という観点から古語と現代語を比較し、国語の特質について考えよう。	枕草子 ありがたきもの	・「ありがたし」の意味を、列挙されているものから考え、さらに、古語辞典で確認する。 ・作者の考えを踏まえ、自分にとっての「ありがたきもの」を挙げる。	【読】 【関】 作者の言う「ありがたし」の例を読み取ったうえで、自分にとっての「ありがたきもの」を挙げている。〈行動の観察／記述の確認〉 【知】 古語について理解し、古語辞典を活用し、適切に現代語訳している。〈行動の観察／記述の確認〉 —ア・イ・ウ
				中納言参り給ひて	・どのような場面かを読み取り、それぞれ、誰の言葉かを指摘する。 ・「さては、扇にはあらず、くらげのななり。」の意味と、「これは隆家が言にしてむ。」と言った理由を考える。	【読】 【関】 場面と会話主、および、そこに表れたやりとりのおもしろさを読み取っている。〈行動の観察／記述の確認〉 【知】 古語について理解し、古語辞典を活用し、適切に現代語訳している。〈行動の観察／記述の確認〉 —ア・イ・ウ
				雪のいと高う降りたるを	・場面と動作や発言主体を確認しながら、作者のどの行動がなぜ定子の心になかったのかを読み取る。 ・「なほこの宮の人には、さべきなめり。」とはどのようなことを言っているのかを説明する。	【読】 【関】 場面と、動作や発言の主体、定子の心になかった作者の行動、および、人々の評価について読み取っている。〈行動の観察／記述の確認〉 【知】 古語について理解し、古語辞典を活用し、適切に現代語訳している。〈行動の観察／記述の確認〉 —ア・イ・ウ・オ
		1	●言語活動3 「ありがたい」と「ありがたし」	・さまざまな観点から古語についてテーマを選んで調べ、国語の特質について考える。(課題1・2)	【読】 【関】 言葉の変遷に着目し、国語の特質について興味・関心を持って調べ、考えている。〈行動の観察／記述の確認〉 —ア・オ	
	5	4	2 物語を楽しむ ▼歌物語を読み、古人のもの	伊勢物語 初冠	・男の行動を順を追って読み取り、「いちはやきみやび」について理解する。	【読】 【関】 男の行動と和歌の意味を読み取り、男の人物像について考えている。〈行動の観察／記述の確認〉

			見方や感じ方を味わおう。 ▼登場人物の心情や行動をとらえよう。		・二つの和歌の関連を理解し、当時の和歌のはたらきについて知る。	[知] 古語について理解し、古語辞典を活用し、適切に現代語訳している。〈行動の観察／記述の確認〉 －ア・イ・ウ
				東下り	・この話をいくつかの場面に分け、歌がどのような時に詠まれているか整理する。 ・それぞれの和歌の内容と男の心情を読み取り、和歌の修辞法について知る。	[読] [関] 場面の区切りを把握し、各場面における和歌の内容と男の心情とを読み取り、また、和歌の修辞法について理解している。〈行動の観察／記述の確認〉 [知] 古語について理解し、古語辞典を活用し、適切に現代語訳している。〈行動の観察／記述の確認〉 －ア・イ・ウ
			2	大和物語 姨捨	・「をば」を山に捨てるまでの男の気持ちはどのように変化しているか、まとめる。 ・男が「をば」を迎えに行ったきっかけは何か読み取る。 ・各地に伝わる姨捨伝説について調べる。	[読] [関] 話のあらすじと登場人物たちの心情や行動を読み取り、感想を持つ。〈行動の観察／記述の確認〉 [知] 古語について理解し、古語辞典を活用し、適切に現代語訳している。〈行動の観察／記述の確認〉 －ア・イ・ウ [読] 姨捨伝説の内容とその存在について知り、現代との関わりについて考えている。－ウ
5 6	7	1 小話を読む ▼さまざまな文章を読み、話の内容を正確に理解しよう。 ▼登場人物の生き方について考えよう。	小話一三編 鼓腹撃壤	・句法に注意して訓読し、話の大筋を把握する。 ・堯の政治に対する民の受け止め方、および、堯の政治を「童謡」と「撃壤」の歌から考え、理想の帝王に望まれる徳とはどのようなものとしているかを考える。	[読] [関] 話の大筋を把握し、堯の政治と、それに対する民の受け止め方を考え、理想の帝王に望まれる徳について把握している。〈行動の観察／記述の確認〉 [知] 漢文に頻出する語彙の読みと意味や句法を確認しつつ訓読し、現代語訳している。〈行動の観察／記述の確認〉 －ア・イ・ウ	
			宋襄之仁	・句法に注意して訓読し、話の大筋を把握する。 ・「宋襄之仁」はどのような意味で使われているかを把握し、類似した意味の故事成語について調べる。	[読] [関] 話の大筋を把握し、「宋襄之仁」の意味と使われ方を把握し、類似した故事成語について調べている。〈行動の観察／記述の確認〉 [知] 漢文に頻出する語彙の読みと意味や句法を確認しつつ訓読し、現代語訳している。〈行動の観察／記述の確認〉 －ア・イ・ウ・オ	
			燕雀安知鴻鵠之志哉	・句法に注意して訓読し、話の大筋を把握する。 ・陳勝と傭者の思いを比較「燕雀安知鴻鵠之志哉」の意味を把握する。 ・陳勝と呉広が反乱を起こした理由を考える。	[読] [関] 話の大筋と、「燕雀安知鴻鵠之志哉」の意味を把握し、また、陳勝と呉広が反乱を起こした理由を考えている。〈行動の観察／記述の確認〉 [知] 漢文に頻出する語彙の読みと意味や句法を確認しつつ訓読し、現代語訳している。〈行動の観察／記述の確認〉 －ア・イ・ウ	
6 7	5	2 古詩を味わう ▼詩にうたわれた情景や作者の心情を味わおう。	古体詩一 五首 桃夭・上邪・飲酒・子夜呉歌・長恨歌	・句法に注意して訓読・朗読し、それぞれの詩の主題を把握、味わう。 ・「長恨歌」のあらすじを整理する。 ・近体詩と比較して、形式的にどのような違いがあるかを理解する。	[読] [関] 古体詩を、それぞれの詩の主題を把握しつつ味わっている。〈行動の観察／記述の確認〉 [知] 漢文に頻出する語彙の読みと意味や句法を確認しつつ訓読し、現代語訳している。〈行動の観察／記述の確認〉 －ア・イ・ウ・エ	
2	9	4 3 歴史物語を読む ▼歴史物語を読み、登場人物の境遇や心情を読み取ろう。	大鏡 道真の左遷	・話の経緯を読み取り、「右大臣」「左大臣」の人物像を把握する。 ・「東風吹かば」の歌に込められた道真の心情を読み取る。 ・作者のこの事件に対する見方を考える。	[読] [関] 話の経緯と道真の心情、作者の見方を読み取っている。〈行動の観察／記述の確認〉 [知] 古語について理解し、古語辞典を活用し、適切に現代語訳している。〈行動の観察／記述の確認〉 －ア・イ・ウ	

		▼古典を読み、関心を持った事柄について調べてまとめよう。	三船の才	<ul style="list-style-type: none"> ・場面とできごとを読み取り、公任の心情と人物像を把握する。 ・「あそばしたりな」は誰の見解かを考える。 	<p>[読] [関] 場面とできごと、公任の心情と人物像、作者の見解を把握している。〈行動の観察／記述の確認〉</p> <p>[知] 古語について理解し、古語辞典を活用し、適切に現代語訳している。〈行動の観察／記述の確認〉</p> <p>ーア・イ・ウ</p>
	1		●言語活動4 道長伝説調べ	[言語] 菅原道真の伝説について調べ、テーマを選び、まとめる。	[知] 菅原道真の伝説について調べ、テーマを選び、まとめている。〈行動の観察／記述の確認〉
9 10	8	3 史記を味わう ▼史記を読み、人物の行動や心情に対する理解を深めよう。 ▼登場人物の生き方や考え方を理解し、人間の生き方やあり方について関心を深めよう。	廉頗と藺相如 灑池之会	<ul style="list-style-type: none"> ・訓読し、登場人物とできごとのおおよそ、および秦の会見のねらいを読み取る。 ・席上での秦の出した要求の意図と対する藺相如の対応、およびその後の二国の動きをまとめる。 	<p>[読] [関] 登場人物と二国のねらい、会見の経緯とその後動きについて読み取っている。〈行動の観察／記述の確認〉</p> <p>[知] 漢文に頻出する語彙の読みと意味や句法を確認しつつ訓読し、現代語訳している。〈行動の観察／記述の確認〉</p> <p>ーア・イ・ウ</p>
			勿頸之交	<ul style="list-style-type: none"> ・訓読し、廉頗と藺相如の関係、話の経緯のおおよそを読み取る。 ・勿頸の交わりの意味と、そのような関係を結ぶに至るまでの廉頗と藺相如の言動を整理し、二人の人物像について考える。 	<p>[読] [関] 廉頗と藺相如が勿頸の交わりを結ぶに至る経緯を読み取り、二人の人物像について考えている。〈行動の観察／記述の確認〉</p> <p>[知] 漢文に頻出する語彙の読みと意味や句法を確認しつつ訓読し、現代語訳している。〈行動の観察／記述の確認〉</p> <p>ーア・イ・ウ</p>
10	2	4 歌話を読む ▼歌話を読み、その論旨を読み取ろう。 ▼歌話に述べられた古人のものの見方、感じ方の特色を理解しよう。	袋草紙 能因と節信	<ul style="list-style-type: none"> ・記されているできごとを読み取り、「ともに感嘆し」た理由と、二人の和歌に対する態度と姿勢について考える。 ・能因の「好き給へ。好きぬれば、秀歌は詠む。」の意味を読み取り、感想を持つ。 	<p>[読] [関] できごとを読み取り、二人の、和歌に対する態度と姿勢を読み取り、感想を持っている。〈行動の観察／記述の確認〉</p> <p>[知] 古語について理解し、古語辞典を活用し、適切に現代語訳している。〈行動の観察／記述の確認〉</p> <p>ーア・イ・ウ</p>
			古今著聞集 能は歌詠み	<ul style="list-style-type: none"> ・「能は歌詠み」と書いた侍の気持ちと、記された場面を読み取る。 ・大臣はどのようなことに対して、「感じ給ひ」たのかを読み取る。 ・「同じことにや」とは、どのような点で同じなのかを把握する。 	<p>[読] [関] 場面と、人物たちの心情を読み取り、二つの例の類似点とを把握している。〈行動の観察／記述の確認〉</p> <p>[知] 古語について理解し、古語辞典を活用し、適切に現代語訳している。〈行動の観察／記述の確認〉</p> <p>ーア・イ・ウ</p>
			無名抄 出で映えすべき歌のこと	<ul style="list-style-type: none"> ・頼政と能因の歌の類似点をあげ、なぜ頼政が歌を事前に俊恵に見せたのかを考える。 ・俊恵が「都には」の歌を推した理由と、「胸つぶれ侍りし」と思った理由をあげる。 	<p>[読] [関] 頼政と能因の歌の類似点、および、頼政の迷いと歌合の後の俊恵の心情とを把握している。〈行動の観察／記述の確認〉</p> <p>[知] 古語について理解し、古語辞典を活用し、適切に現代語訳している。〈行動の観察／記述の確認〉</p> <p>ーア・イ・ウ</p>
11	7	4 中国の思想 ▼人間や政治についての古代中国のさまざまな思想を読み取ろう。 ▼中国の思想を	人間論・政治論 性相近也(論語) 不忍人之心(孟子) 人之性悪(荀子)	<ul style="list-style-type: none"> ・各章句を句法に注意して訓読し、それぞれが言おうとしていることを読み取り、重要なキーワードについて理解する。 ・荀子の思想について読み取り、孔子・孟子の思想との違いを理解する。 	<p>[読] [関] 各章句を訓読し、それぞれの内容をキーワードに即して読み取って理解し、さらに、荀子の思想を孔子・孟子のそれと比較しつつ理解している。〈行動の観察／記述の確認〉</p> <p>[知] 漢文に頻出する語彙の読みと意味や句法を確認しつつ訓読し、現代語訳している。〈行動の観察／記述の確認〉</p> <p>ーア・イ・ウ</p>

			通して、人間について思索を深めよう。	無用之用(老子) 曳尾於塗中(莊子)	<ul style="list-style-type: none"> 各章句を句法や比喩的表現に注意して訓読し、それぞれが言おうとしていることを読み取り、老子・荘子の思想について儒家の思想と比較しつつ、理解する。 自分たちの生活の中の、老子・荘子の思想の影響について考える。 	<p>[読] [関] 各章句を比喩的表現に注意して訓読し、それぞれの内容を読み取って理解し、さらに、老子・荘子の思想を儒家のそれと比較しつつ理解している。〈行動の観察／記述の確認〉</p> <p>[知] 漢文に頻出する語彙の読みと意味や句法を確認しつつ訓読し、現代語訳している。〈行動の観察／記述の確認〉 －ア・イ・ウ・オ</p>			
12	5	5	5 物語を味わう ▼物語の世界に親しみ、文章を味わおう。 ▼登場人物の心情や行動について考えよう。	源氏物語 光源氏の誕生	<ul style="list-style-type: none"> 本文を読んで、登場人物の相互の関係と、帝をめぐる人々の心情と言動を読み取り、まとめる。 帝の桐壺の更衣に対する待遇と桐壺の更衣の心情、および光源氏の誕生をめぐる状況を読み取る。 この物語の書き出しを『竹取物語』『伊勢物語』などのほかの物語と比べてその違いを把握する。 	<p>[読] [関] 登場人物の相互の関係、帝をめぐる人々の心情と言動、帝と桐壺の更衣との交情、光源氏の誕生について読み取っている。〈行動の観察／記述の確認〉</p> <p>[知] 物語の書き出しの特徴や、古語について理解し、古語辞典を活用し、適切に現代語訳している。〈行動の観察／記述の確認〉 －ア・イ・エ</p>			
				若紫	<ul style="list-style-type: none"> どのような場面であるかを読み取り、「十ばかり」の少女についての記述を読み取り、まとめる。 やりとりされた二つの歌の内容を、修辞法に注意して読み取る。 光源氏の、この少女に対する心情を読み取り、まとめる。 	<p>[読] [関] 場面を把握し、「十ばかり」の少女の様子と光源氏の心情を読み取っている。〈行動の観察／記述の確認／定期考査〉</p> <p>[知] 古語について理解し、古語辞典を活用し、適切に現代語訳している。〈行動の観察／記述の確認〉 －ア・イ・エ</p>			
				■古文の窓④ その後の若紫	<ul style="list-style-type: none"> 『源氏物語』の若紫について、その後の展開を知り、関心を持つ。 	<p>[知] 『源氏物語』若紫について、後の展開を知り関心を持つ。〈行動の観察／記述の確認〉 －エ</p>			
3	1	3	6 小説を楽しむ ▼近世の文学を読み、古人の生き方や考え方について理解を深めよう。	世間胸算用 蛸売りの八助	<ul style="list-style-type: none"> あらすじを把握し、主人公の行動と人物像を読み取る。 「法体したる親仁」はどのような人物と描かれているか把握する。 近世独特の文章表現について知る。 	<p>[読] [関] あらすじを把握し、登場人物の行動と人物像を読み取っている。〈行動の観察／記述の確認〉</p> <p>[知] 古語や近世独特の表現について理解し、古語辞典を活用し、適切に現代語訳している。〈行動の観察／記述の確認〉 －ア・イ・エ</p>			
				2	4	7 伝承の世界 ▼上代の文学を読み、古人の心情や考え方を知ろう。 ▼上代の文学に見られる文章表現の特色を理解しよう。	古事記 倭建命	<ul style="list-style-type: none"> 上代特有の語句・表現に注意して、主人公の人物像と、たどった道筋を読み取る。 主人公に起きたできごととその時々的心情を読み取り、前半部と後半部とを読み比べてまとめる。 	<p>[読] [関] 主人公のたどった道筋とできごと、心情を読み取り、感想を持ち、神話について理解している。〈行動の観察／記述の確認〉</p> <p>[知] 古語や上代特有の表現について理解し、古語辞典を活用し、適切に現代語訳している。〈行動の観察／記述の確認〉 －ア・イ・ウ・オ</p>
							■古文の窓⑤ 『源氏物語』の広がり	<ul style="list-style-type: none"> 『源氏物語』がその後の文学や芸術に与えた影響を知る。 	<p>[知] 源氏物語』がその後の文学や芸術に与えた影響について理解している。〈行動の観察／記述の確認〉 －オ</p>
2 3	3	5 日本の漢詩文 ▼表現にこめられた、豊かな詩情や内容を読み取ろう。 ▼日本の文化と中国の文化との関係について	詩 ー 三首 ・桂林荘雜詠示諸生 ・送夏目漱石之伊予 ・風流人未死	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの詩は何時代のどのような人物が、どのような心情をうたったものかを読み取り、また、それぞれの詩の形式を確認する。 印象に残った詩について、感想を話し合う。 	<p>[読] [関] それぞれの詩の作者とその詩にうたわれた心情を読み取り、詩の形式を確認し、感想をもつことができている。〈行動の観察／記述の確認〉</p> <p>[知] 漢文に頻出する語彙の読みと意味や句法を確認しつつ訓読し、現代語訳している。〈行動の観察／記述の確認〉 －ア・イ・ウ・エ・オ</p>				
			4	信玄と謙信 所争不在米	<ul style="list-style-type: none"> 句法に注意して訓読し、あらすじを把握し、二人の武将の考え方と行動を読み取り、謙信・信玄の武将として優れた 	<p>[読] [関] あらすじを把握し、二人の武将の考え方と行動を読み取り、謙信・信玄の武将として優れた</p>			

			て考えよう	塩・諸将服信玄	<p>行動を読み取り、謙信・信玄の武将として優れた点を指摘する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本人の漢詩や『日本外史』について知り、中国と日本の文化の交流について考える。 	<p>点を指摘できている。〈行動の観察／記述の確認〉</p> <p>[知]漢文に頻出する語彙の読みと意味や句法を確認しつつ訓読、現代語訳し、また、日本漢文を読んで、中国と日本の文化の交流について関心をもっている。〈行動の観察／記述の確認〉</p> <p>ーア・イ・ウ・オ</p>
--	--	--	-------	---------	--	--

【年間における学習状況の評価法】

- ・古文・漢文の両分野において、基本的な語句や文法を理解しているか、文章に表れた思想や心情を的確にとらえられたか、各自の考え方・感じ方を豊かにすることができたかといった観点から学習状況を評価します。定期考査、提出物・週末課題等の成績を総合し、1年間の成績とします。
- ・それぞれの学習状況を「関心・意欲・態度」、「読む能力」、「知識・理解」3つの観点から評価します。

【確かな学力を身につけるためのアドバイス】

- ・3学年における「古典B」は、2学年の「古典B」の学習で習得した基礎力を発展させる科目です。よって扱う教材は、2学年の「古典B」と比較すると、より難解で読み応えのある文章となります。授業では常に集中し、読解のポイントを押さえるようにしましょう。
- ・古文読解の基礎である文語文法、古文韻文の技巧、漢文読解の基礎である句法などを確実に理解するためには、予習や新しく習ったことを定着させるための復習を行うことが重要となります。
- ・漢字や語句について日頃から関心を持ち、不明な点や疑問点はすぐ古語辞典・漢和辞典で調べる習慣をつけましょう。

【授業を受けるに当たって守ってほしいこと】

- ・教科書・ノート・ファイルを常に用意し、板書内容あるいは重要事項、注意事項を忘れずに書き込むようにしましょう。
- ・授業と並行して家庭学習で週末課題や夏休み・冬休み課題に取り組みましょう。課題などの提出日は厳守して下さい。講座にも参加しましょう。
- ・意見や考えを発表する場面では、間違いを恐れず積極的に発言してください。主体的に学習することで、より古典の理解や関心が深まります。